

ボランティアセンター 設置の経緯

設置までの経緯

震災から3日後の3月14日夜に、石巻市から本学に対してボランティアセンター設置の要請があった。先に示した「大規模災害時における協定書(案)」の中に「ボランティアセンターの設置」という項目が入っていたこともあり、災害対策本部で検討の上、翌3月15日に正式に設置を許可した。

当初は「ボランティアセンターを4号館に設置する」と想定していたが、すでに避難所として使用されていたことから、5号館の1階にボランティアセンターを設置することにした。結果的にそれはおおむね好評だったようだ。なぜなら、5号館から学生駐車場を隔てたところに雨天体育場があり、これが救援物資の倉庫として利用可能だったからである。ボランティアセンターの近くの雨天体育場を倉庫とすることで大量の救援物資が雨風にさらされる心配が回避された。倉庫の近くにボランティアセンターを開設したことは効率がよかったとのことである。

15日にはボランティアセンターが開設し、その翌日には全国の社会福祉協議会に向けて、ボランティア要請が発信されている(県外の一般ボランティア募集開始は3月28日)。要請の後には、全国から続々とボランティアが集まってくることが予想されたが、石巻市内の宿泊施設は災害救援の工事業者などで満杯状態であったた

め、芝生のあるグラウンドをボランティアの駐留地(テントサイト)として利用してもらうこととした。1日当たりボランティアセンターに出入りした人の数は、最大延べ人数でいうと2,000人程度で、本学にテントなどを設営し、ここを拠点として活動したボランティアの人数は7~800人だった。全国から自家用車やボランティアバスなどでやってくるもの、あるいは海外からやってきてテントサイトで宿泊するもの、そして近郊からボランティアバスや自転車などで通ってくるものなどがいた。

ボランティアセンター本部以外に貸与した施設は、5号館の1階に2カ所である。それらは、例えば台風の時期にテントが強風雨にさらされる、あるいは積雪でテントがつぶれて危険な状態になることが予想されるときに緊急避難的に入ることができる部屋として用意された。ただし、4月7日の最大余震(震度6強)の時に津波警報が発令されたときには、テントサイトで宿泊していたボランティアを急遽5号館の高層階に収容するなど、臨機応変に対応した。

設置後の大学の動きについて

ボランティアセンター受け入れについて、外部の人に「よく決断されましたね」などと言われる。大学に外部の人が多数入ってくると大学のセキュリティや研究・教育環境に支障が出るだろうと、その方々は懸念したのだろうと思う。我々

もそのことを考えなかったわけではなかった。ただし、千年に一度の大災害に際し、地元石巻の復興のためには多少の問題は克服しなければならないと考えた。ボランティアが大学の規律を守ってさえくれば何とかできるだろうと考え、受け入れを決断した。大学の規律というのは、例えば駐車ルールに始まり、指定場所での喫煙、ごみの捨て方、排泄物についてのルール、立ち入り禁止区域の設定などであるが、それらを明確にしておくことで対応できると考えた。いくつかのトラブルが発生したが、その都度資料に示すような要望書を社会福祉協議会に提出して、ボランティアに善処してもらった。

5月20日に大学が再開し、多くの学生が大学に戻ってきた後は、職員も教員もその対応にさら

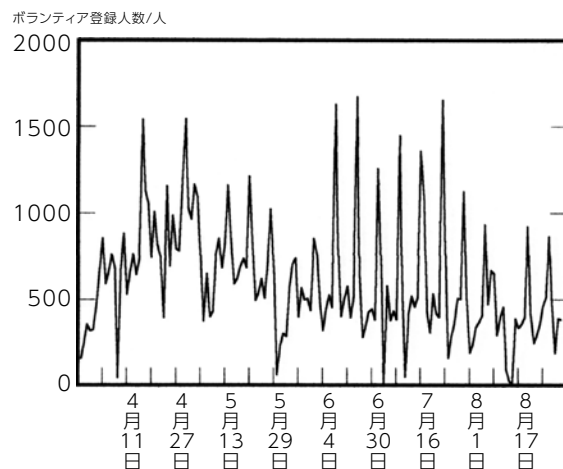
に神経を使った。5月20日といえば、まだボランティアがたくさんいる状況であり、その中で勉学の環境を保つことに教職員は特に苦心した。大学は勉学をする場所であるという本質を考えれば、学生にとって部外者がいること自体違和感があったと思う。また、教員にとっても研究環境を害されるという不安をもつ者も多かった。特にボランティアセンター開設の経緯を知らされていない教員のなかには、いきなり部外者がいる状況に直面し、違和感や懸念を抱く局面が多かったことと思われる。また、テレビ、新聞等でボランティアセンターの報道をみた学生の保護者からも、「大学は勉強できる環境にあるのだろうか」という質問を受けた教員も多い。事務サイドとしては大学本来の学業や研究の環境を害しない



5号館に設置された災害ボランティアセンター



ボランティア受付



ボランティア登録人数



全国から集まったボランティアの人たち

1 その時、大学は

2 大学の被災状況

3 地震直後からの大学の対応

4 地域社会への貢献

5 各学部・委員会などの対応・動向

6 建物と地盤について

7 震災を振り返って

資料編

よう、必要に応じて要望書(資料「ボランティアセンターへの要望書」P.93~94を参照)を出して共存が可能になるよう方策を出してきた。(たとえば、テントサイトの変更や駐車禁止区域の設定など)。

今後、このような大規模災害が起こらないことを祈るばかりだが、部外者が出入りする環境をどのように取りまとめていくのかというのは、今後のためにも考えておかねばならない点であろう。ボランティアを受け入れないということではなく、どのような策を講じれば、大学と共存できるか、ものごとがスムーズに運ばれるのかということを考えておくべきである。

もちろん、ほとんどのボランティアはきちんとした方々である。善意で石巻を助けに来た意識の高い方々であることを、明確に記しておきたい。

(資料) ボランティアセンターへの要望書

平成23年4月8日

石巻市社会福祉協議会
事務局長 大槻 英夫 様

石巻専修大学
部 課 長 一 同

ボランティアセンターの施設使用の改善申し入れについて

4月7日(木)午後4時に部課長による校内巡回を行った結果、ボランティアセンターの施設使用について下記のとおり改善されるよう申し入れます。

記

1. テントの設置等について

- ・テントの設置場所は、全天候型陸上競技場(外側)及び第一駐車場西側の芝生のみとすること。
- ・桜の木等にロープを張ったり、衣類等を干したりしないようにすること。
- ・食事・風呂等のために火を焚かないこと。

2. 車両の乗り入れについて

- ・車輛の駐車場は、第2駐車場のみとすること。
- ・大学に入校する場合は、北門から入り、南門から出るようにすること。
- ・構内は一方通行(時計回り)となっているので、逆行しないようにすること。
- ・芝生に車両を乗り入れしないようにすること。
- ・バイク・自転車は、所定の駐輪場に置くこと。

3. 5号館の使用について

- ・1階廊下に、支援物資等を置かないこと。
- ・タバコは、所定の喫煙所で喫煙すること。
- ・ゴミは、所定の場所に捨てること
- ・2階・3階・4階(屋上)は、地震による天井等の落下の恐れがあるため立入りを禁止します。

4. その他

- ・毎週月曜日午前中までに、前の週のボランティア団体数及び人数を報告すること。
- ・新規に行うこと等があれば、事前に報告すること。
- ・ボランティアの方達の風紀(酒・タバコ・騒音等)が乱れているので、改善すること。
- ・上記の改善は、4月11日(月)から実行されますよう周知をお願いします。

以 上

1 その時、大学は

2 大学の被災状況

3 地震直後からの大学の対応

4 地域社会への貢献

5 各学部・委員会などの対応・動向

6 建物と地盤について

7 震災を振り返って

資料編

(資料)ボランティアセンターへの要望書

平成23年4月27日

石巻市社会福祉協議会
事務局長 大槻 英夫 様

石巻専修大学
部 課 長 一 同

ボランティアセンターの施設使用の改善申し入れについて

4月30日(土)に開催いたします育友会臨時懇談会(保護者の会)及び5月20日(金)からの授業開始に伴い、4月26日(木)午前9時30分より部課長による校内巡回を行った結果、ボランティアセンターの施設使用について下記のとおり改善されるよう申し入れます。

記

1. テントの設置場所等について

- ・テントの設置場所は、全天候型陸上競技場(外側の鉄塔より土手側)のみとすること。
(別添のキャンパスマップを参照ください。)
- ・桜の木等にロープを張ったり、衣類等を干したりしないようにすること。(申入れ済)
- ・食事・風呂等のために火を焚かないこと。(申入れ済)
- ・

2. 車両の乗り入れについて

- ・車輛の駐車場は、第2駐車場のみとすること。(申入れ済)
- ・大学に入学する場合は、北門から入り、南門から出るようにすること。(申入れ済)
- ・構内は一方通行(時計回り)となっているので、逆行しないようにすること。(申入れ済)
- ・芝生に車両を乗り入れしないようにすること。(申入れ済)
- ・バイク・自転車は、所定の駐輪場に置くこと。(別添のキャンパスマップを参照ください。)

3. 5号館の使用について

- ・1階廊下に、支援物資等を置かないこと。(申入れ済)
- ・タバコは、所定の喫煙所で喫煙すること。(申入れ済)
- ・ゴミは、所定の場所に捨てること。(申入れ済)
- ・2階・3階・4階(屋上)は、地震による天井等の落下の恐れがあるため立入りを禁止します。
(別添のキャンパスマップを参照ください。)

4. その他

- ・毎週月曜日午前中までに、前の週のボランティア団体数及び人数を報告すること。(申入れ済)
- ・新規に行うこと等があれば、事前に報告すること。(申入れ済)
- ・ボランティアの方達の風紀(酒・タバコ・騒音等)が乱れているので、改善すること。(申入れ済)
- ・上記の改善は、4月29日(金)から実行されますよう周知をお願いします。

以 上

ボランティア登録された団体数について

石巻市社会福祉協議会の運営する石巻災害ボランティアセンター（および石巻災害復興支援協議会）に登録された団体は323団体に達した（11月21日（月）現在）。所属別の団体数は、以下の通りである。基本的にボランティアセンターは個人ボランティアの登録とマッチングを行っているが、団体の場合には、同様に5号館1階に提供した石巻災害復興支援協議会に登録し、情報を

共有しながら活動しているとのことである。なお本学はどの団体が、どこで、どのような活動をしているかという報告は受けていないが、活動内容については石巻災害復興支援協議会のホームページ<http://gambappe.ecom-plat.jp/>に記載されている。ボランティアセンターは12月1日に石巻市不動町の石巻市勤労者余暇活動センター「明友館」に移転し、大学からは撤退した。現在は引き続き石巻災害復興支援協議会が本学内に残り各種団体の調整を行っている。

所 属	団体数	所 属	団体数	所 属	団体数
任意団体	176	公益財団法人	5	財団法人	1
NPO法人	58	社会福祉法人	4	一般財団法人	1
株式会社	35	宗教法人	4	学校法人	1
有限会社	11	地方公共団体	3	医療法人	1
社団法人	18	特定非営利活	2	そ の 他	3

※石巻災害ボランティアセンターが、本学に設置された3月15日（火）から11月22日（火）までのボランティア受入れ状況は、延べ10万人を超えた。

その他の施設提供

自衛隊の宿営地

使用用途：隣接の総合運動公園とともに自衛隊の宿営地

期間：平成23年3月15日～5月10日

施設：多目的グラウンド

ヘリポート

使用用途：災害時の救助・救護活動、緊急物資の輸送等のためのヘリポート

期間：平成23年3月11日～当面の間

施設：多目的グラウンド

NTT非常用衛星電話所

使用用途：避難者の通信手段

期間：平成23年3月17日～5月20日

施設：本館中庭前



自衛隊車輛の仮設駐車スペースとして提供された学内道路

1 その時、大学は

2 大学の被災状況

3 地震直後からの大学の対応

4 地域社会への貢献

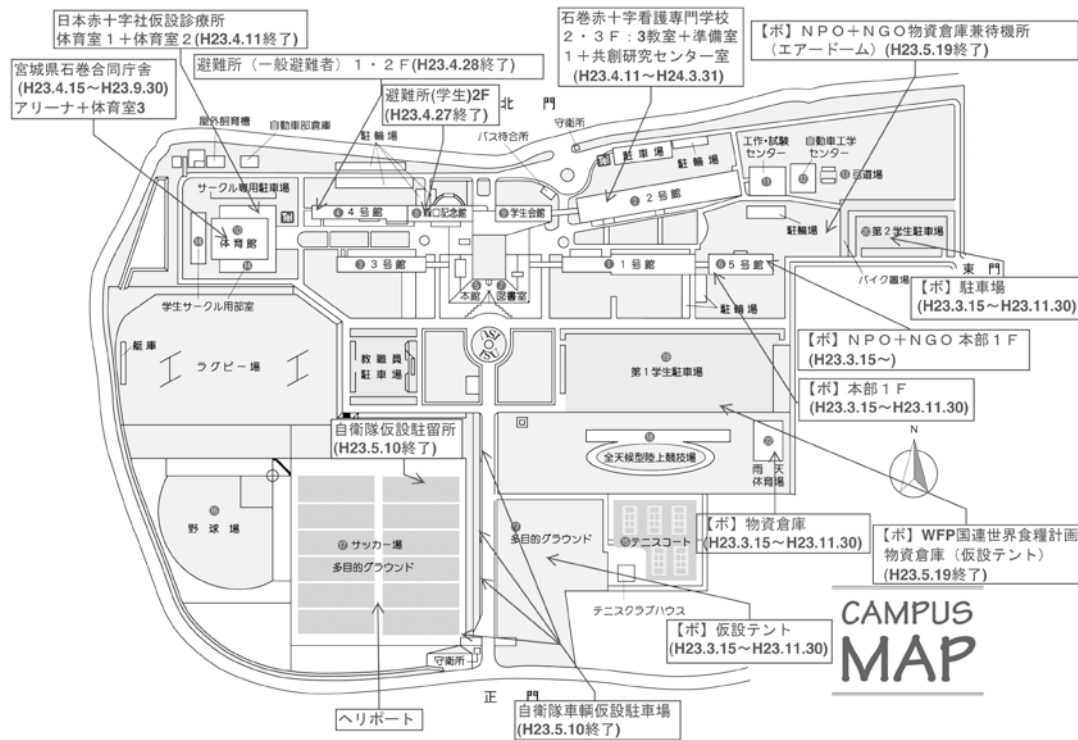
5 各学部・委員会などの対応・動向

6 建物と地盤について

7 震災を振り返って

資料編

地域社会への貢献



本学施設の提供



全国から集結したボランティア



ボランティアセンター



1号館前に設置されたボランティアセンター受付

1 その時、大学は

2 大学の被災状況

3 地震直後からの
大学の対応

4 地域社会への貢献

5 各学部・委員会
などの対応・動向

6 建物と地盤に
ついて

7 震災を振り返って

資料編